

材料工学分野における研究実戦グローバルPBL research type gPBL

実施期間	実施国	共同実施機関	対象	参加者	本学担当教員
2019年07月30日 ～2019年08月12日	タイ	Kasetsart University ハノイ理工科大学	・材料工学科 ・学部3年生、修士1年生、学部4年生、修士2年生	(芝浦工業大学) 学生14名、教員4名 (Kasetsart University) 学生10名、教員4名 (ハノイ理工科大学) 学生1名	芹澤 愛(材料工学科)、 CHAYANAPHAT CH OKRADJAROEN(SIT 総合研究所)、石崎 貴 裕(材料工学科)、CAME LIA MIRON(SIT総合 研究所)



図1

タイ カセサート大学派遣gPBL(2019年7月30日～8月12日)

本グローバルPBLは、タイのバンコクにあるカセサート大学(KU)の材料工学部で開催されました。先方のガシディット パノムスワン教授とその学生達がホストとなり、SITからは学生14名(3年生と4年生と、修士1年が1名)、ベトナムのハノイ科学技術大学(HUST)から4年生が1名、またSITの教員 Chayanaphat Chokradjaroen助教、芹澤愛准教授、石崎貴裕教授、Camelia Miron 准教授がサポートとして参加した。

プログラムには、文化交流の意見やキャンパスツアーが含まれていました。学生は、電着、発光材料、ジオポリマー、液体中のプラズマの分野で広範な講義を受け、科学的結果に基づいて適切なパワーポイントプレゼンテーションを準備する方法を学びました。この授業内容には、タイのバンコクにあるWestern Digital Companyへの訪問も含まれており、そこではクリーンルームに入り、ハードディスクの生産を見ました。日本人、タイ人、ベトナム人の学生は、電着、発光材料、ジオポリマー、液体中のプラズマの分野の実験室で実験を行うために混合の4つのグループに分けられました。学生は効果的に作業を行い、主な結果を30分間のプレゼンテーションにまとめ、国際チームで効率的に作業し、コミュニケーションをとる能力を培うことができました。



図2

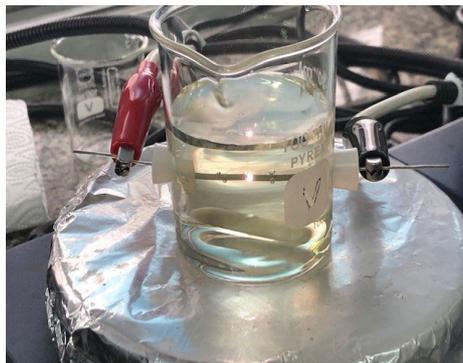


図3



図4